



# 市議会報あやせ

平成20年(2008年)11月  
発行 綾瀬市議会  
☎0467-70-5644  
編集 議会報編集委員会

## 平成19年度6会計決算を賛成多数で認定

### 歳出決算総額は416億5402万円に

#### 9月定例会

9月定例会が、9月2日から25日までの24日間の会期で開かれました。この定例会では、平成19年度6会計決算、平成20年度一般会計ほか2特別会計の補正予算、特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例などの一部改正、土地開発公社定款の一部変更、市道路線の認定、教育委員会委員の任命、民事調停の申立て、工事請負契約の締結など、市長から提出された20議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意しました。また、議員提出議案では、政務調査費の交付に関する条例及び会議規則の一部改正と意見書3件を可決しました(審議結果は8ページに掲載)。陳情は2件を趣旨了承、2件を趣旨不承と決しました。



9月27日、各小学校で運動会が開催されました。1番でテープを切り、満面の笑顔でした(土棚小学校にて)

#### 歳入歳出決算の認定

平成19年度6会計決算は、歳入総額が435億1152万円、歳出総額が416億5402万円で、前年度と比較し歳入は3.7%の増、歳出は2.7%の増となりました。

決算額の56%を占める一般会計では、歳入が対前年度比0.5%増の243億4523万円で、その内訳としては、市税などの自主財源が70%、国庫支出金などの依存財源が30%。歳出は、対前年度比0.8%減の229億4723万円で、主に、保育や障害者福祉の事業などに要した民生費が59億1144万円で26%を占め、次に公園や市道の整備などに要した土木費が、48億3216万円で21%を占めています。

なお、市民1人当たりの決算状況としては、市税の納税額17万7195円に対して、一般会計の歳出額は28万4652円でした。

また、国民健康保険事業では、1人当たりの療養給付費が17万6464円でした。老人保健医療事業では、1人当たりの医療給付費が63万2798円でした。下水道事業では、終末処理場の更新工事などを行い適正な維持管理を行うとともに、管まよ整備による水質保全と居住環境の改善を推進し、人口普及率は、93.1%となりました。深谷中央特定土地

#### 補正予算

区画整理事業では、主に移転移設補償や道路及び調整池の整備などを行い、事業の進捗率は事業費ベースで約80%となりました。介護保険事業では、要介護認定者が増加し、保険給付費の対前年度比は4.9%の増でした。

#### 条例

一般会計、国民健康保険事業特別会計及び介護保険事業特別会計の3会計総額で1億4974万円追加するものです。

#### 人事案件

伊藤祐彦氏(寺尾北)の再任と新たに野瀬直子氏(小園南)を任命することに同意しました。

平成19年度市道10号線舗装補修工事の不良工事に係る損害賠償金などの支払いを求めるためのものです。

寺尾天台自治会館の設置に伴い、必要な改正をします。

公立小学校増築併行防音工事(建築)

平成20年度綾瀬西小学校増築併行防音工事(建築)

平成19年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について

平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

専決処分報告について(3件)

#### 議員提出議案

綾瀬市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

綾瀬市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の改正に伴い、必要な改正をします。

私学助成制度の拡充を求める意見書

教育諸条件の整備と私学助成制度の拡充を求めるものです。

義務教育費国庫負担制度存続、教職員定数改善計画早期策定を求める意見書

教育の機会均等を確保し、教育水準の維持、向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の存続と教職員定数改善計画の早期策定を求めるものです。

正規雇用の推進と労働者派遣制度の改正を求める意見書

正規雇用を推進する施策の強化と労働者派遣制度の改正を求めるものです。

可決した意見書3件は関係機関に提出しました(意見書全文は7ページに掲載)。

報告

平成19年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について

平成19年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

専決処分報告について(3件)



つなごう手を つなごう未来へ

綾瀬30周年祭